

主題

有限会社 新日本綜設
ピクシー〔放課後等デイサービス・保育所等訪問支援〕

課題

A 施設外会議や保育所等訪問支援・家庭連携支援等の記録は現地で取った手書きでのメモを基に帰社後、専用フォーマットへ入力作業を行っており、記録・報告書作成作業に時間を要していた。

B ほぼ毎日、高速道路を使用した長距離送迎を行っており、停車が容易でないため急を要した業務連絡が安全かつ適時適切に行えない。

ICT 機器 導入

成果

A：ノートPC・タブレット・ペン導入

【業務の質の向上】出先での会議や先述の支援進行中に現地で随時入力での記録が可能となり、手書きに比べ記録作業が早いため会議や支援により集中できるようになった。

【量的な効率化】帰社後の入力作業が省略され、修正や補足のみとなったため報告書作成作業の時間が短縮された。

B：ワイヤレスイヤホン導入

【業務の質の向上】送迎時の業務連絡のやり取りが安全に行えるようになった。

【量的な効率化】運転以外の作業中でも電話応答時に手が塞がらないため、作業時間の短縮に繋がった。



A：業務効率化のステップ

①機器導入を想定し、どんな場面での導入・使用が最適か職員同士で事前に意見交換を行った。

②施設外の会議や家庭連携支援時にはノートPCを、保育所等訪問支援時にはタブレットとペンを使用。それぞれ出先で報告書や記録を作成。ペンでの手書きメモは、標準搭載機能を使ってデジタルテキストに変換した。

③機器の扱いに慣れるまでは多少時間がかかるが、職員間で使い勝手や各種機能についてこまめな情報共有を行っている。

B：業務効率化のステップ

①機器導入を想定し、どんな場面での導入・使用が最適か職員同士で事前に意見交換を行った。

②送迎時は毎回発進前に各自スマホとイヤホンをペアリングして装着。事前に使い方を周知共有し、スマホに触れずにイヤホン操作のみで着信応答・終話が可能となった。

③機器の扱いに慣れるまでは多少時間がかかるが、職員間で使い勝手や各種機能についてこまめな情報共有を行っている。

A：職員の声など

【良かった点】

- ・事務作業の負担軽減に繋がった。
- ・デジタルテキスト化が思ったより正確で助かっている。
- ・出先での資料閲覧や検索が可能となったため、情報を確認するまでのタイムラグがなくなった。

【悪かった点】

- ・個人差はあるが使いこなすまでに時間がかかる。

【今後の課題・その他】

- ・作業スキームを明確にし、共有に努める。
- ・使い勝手をさらに向上させるアプリ等を随時検討。

B：職員の声など

【良かった点】

- ・運転時の業務連絡が格段に安全かつ容易になった。
- ・操作が容易な機種だったため導入当初から活用できた。

【悪かった点】

なし

【今後の課題・その他】

なし